

全段連 第四次環境自主行動計画（温暖化対策） 2022 年度実績フォローアップ調査結果

2023 年 7 月 12 日
全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は、2021 年 12 月に第四次環境自主行動計画（温暖化対策）を策定し公表致しました。本年 5 月に自主行動計画参加企業に対して 2022 年度実績の調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

<計画>

CO₂ 総排出量を 2006 年度～2008 年度の 3 年間平均に対し、2025 年度で 23%、2030 年度で 30%削減*する。 *2030 年度の目標値は 2025 年度にレビューを行う

<実績>

() 内は基準年度比

		基準年度	目 標	前年度実績	実 績	2030年度 目標
		2006～2008 年度平均	2025年度	2021年度	2022年度	
貼合生産量	百万 m ² /年	9,352	10,132 (108.3%)	10,435 (111.6%)	10,477 (112.0%)	10,132 (108.3%)
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	594,430	459,892 (77%)	504,543 (84.9%)	484,824 (81.6%)	417,066 (70%)
CO ₂ 削減量※1	t-CO ₂ /年	—	134,538	89,887	109,606	177,364
CO ₂ 削減率	%	—	23	15.1	18.4	30
CO ₂ 原単位※2	kg-CO ₂ /千 m ²	63.56	45.39 (71.4%)	48.35 (76.1%)	46.28 (72.8%)	41.16 (64.8%)
原単位削減率	%	—	28.6	23.9	27.2	35.2

※1：基準年度に対する計画年度毎の削減量 ※2：CO₂ 総排出量を貼合生産量で割った値

- ・自主行動計画参加企業数：57 社
- ・全国段ボール生産量に対するカバー率：71.9 % (2022 年度)

<2022 年度実績の調査結果について>

2022 年度の参加 57 社の CO₂ 総排出量は、前年度より 19,719t-CO₂/年 (3.9%) 減少となった。貼合生産量は、42 百万 m² (0.4%) 増加したが、再生可能エネルギー由来電力への転換、ボイラーの効率化や燃料転換、LED 等の省エネ設備の導入、コルゲータ、製造設備更新等による生産効率の向上等により改善され、CO₂ 排出原単位は 2.07 kg-CO₂/千 m² (3.3 ポイント) 減少改善された。

第四次計画は、政府が掲げる温室効果ガスの 2030 年度削減率 46%削減計画における産業部門の削減率を念頭に、組合員企業が自らの努力で達成の可能性がある目標値を設定した。CO₂ 排出原単位削減率は 27.2%と改善が進んでおり、CO₂ 総排出量の削減率は 18.4%という結果となっている。生産性の向上、燃料転換、再生可能エネルギーの活用、最新鋭設備の導入などにより CO₂ 削減を進めるとともに、スコープ 3 を意識した温室効果ガス削減に継続し取り組む必要がある。

以上